

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 NSRR原子炉施設 第35回(第5回目) 施設定期検査結果の概要

事業者及び事業所名	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構			
検査範囲	原子炉本体、核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設、原子炉冷却系統施設、計測制御系統施設、放射性廃棄物の廃棄施設、放射線管理施設、原子炉格納施設、その他の試験研究用等原子炉の附属施設			
検査場所	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 原子炉施設 (NSRR原子炉施設)			
申請年月日 及び申請書番号	平成26年11月14日 26原機(科研)007			
要領書 番号	検査の項目	検査の概要	検査年月日	結果
12-01	線量当量率の測定検査	原子炉施設全般の人の立ち入る場所の線量当量率が設置許可申請書に記載された基準線量当量率以下であることを確認。	令和2年2月27日	良
19-01	炉心支持構造体の外観検査	原子炉本体のうち、炉心支持構造体について外観検査を実施し、健全性が適切に維持されていることを確認。	令和元年12月18日	良
21-01	キャスクの外観検査	核燃料物質の取扱施設のうち、核燃料物質取扱設備であるキャスクについて外観検査を実施し、未臨界性及び健全性が適切に維持されていることを確認。	令和元年12月18日	良
22-01	核燃料貯蔵設備の確認検査	核燃料物質の貯蔵施設のうち、核燃料物質貯蔵設備である燃料貯蔵庫、原子炉プール内貯蔵ラック及び燃料貯留プールについて貯蔵能力確認検査及び未臨界性確認検査を実施し、健全性及び臨界防止対策が適切に行われていることを確認。	令和元年12月18日	良
22-02	燃料貯留プールの確認検査	核燃料物質の貯蔵施設のうち、燃料貯留プールについて外観検査及び漏えい検査を行い、遮蔽能力に影響を及ぼすような有害な損傷が無いことを確認。	令和元年12月18日	良
23-01	一次冷却材温度最大値確認検査	原子炉本体のうち、原子炉プールについて一次冷却材温度最大値確認検査を実施し、原子炉定出力運転(300kW)において一次冷却材温度の最大値が、基準値以下であることを確認。	令和2年2月27日	良
25-01	プール水精製系の確認検査	原子炉冷却系統施設のプール水精製系について浄化能力確認検査を実施し、保安規定に記載されている水質の維持管理値を維持できる能力を有していることを確認。	令和元年12月18日	良
26-01	原子炉プールの確認検査	原子炉本体のうち、原子炉プールについて、外観検査及び漏えい検査を行い、遮蔽能力に影響を及ぼすような有害な損傷が無いことを確認。	令和元年12月18日 令和元年12月19日	良

要領書 番号	検査の項目	検査の概要	検査年月日	結果
26-02	サブパイル室の外観検査	サブパイル室について、原子炉プールからプール水が漏えいした場合に冠水を維持する能力に影響を及ぼすような有害なひび割れ損傷がないことを確認。	令和元年12月18日	良
28-01	警報回路の確認検査	計測制御系統施設の原子炉制御設備のうち、警報回路について設定された作動条件で作動することを確認し、設置許可申請書に記載された性能を満足することを確認。	令和元年12月19日	良
28-02	排気筒モニタの警報検査	放射線管理施設のうち、屋外管理設備として設置する排気筒モニタについて、警報作動条件に達したとき、確実に検知して速やかに警報が発生することを確認。	令和元年12月19日	良
28-03	放射線エリアモニタ及び室内ダストモニタの警報検査	放射線管理施設のうち、放射線エリアモニタ及び室内ダストモニタについて、警報設定値に達したとき、確実に検知して速やかに警報が発生することを確認。	令和元年12月19日	良
30-01	原子炉停止回路の設定値確認検査	計測制御系統施設の安全保護回路のうち、原子炉停止回路について設定された作動条件で作動することを確認し、設置許可申請書に記載された性能を満足することを確認。	令和元年12月19日	良
30-02	原子炉保護用インターロック回路のインターロック検査	合成パルス運転時の異常時にトランジェント棒の引抜きを阻止し原子炉の安全を確保するための原子炉保護用インターロック回路についてインターロック検査を行い、設置許可申請書に記載された性能を満足することを確認。	令和元年12月19日	良
31-01	制御棒駆動機構の確認検査	制御棒駆動機構についてスクラム時の挿入時間及び駆動速度を測定し、設置許可申請書に記載された基準値を満足していることを確認。	令和元年12月18日	良
31-02	反応度抑制効果検査	制御棒について反応度抑制効果検査を実施し、各制御棒の有する反応度抑制効果が基準値を満たしていることを確認。	令和2年2月4日	良
31-03	原子炉停止余裕検査	制御棒について原子炉停止余裕検査を実施し、最大の反応度抑制効果を有する制御棒1本がスタックしたと仮定したときの停止余裕が基準値以上であることを確認。	令和2年2月4日	良
31-04	過剰反応度検査	燃料要素について過剰反応度検査を実施し、制御棒制御棒校正データから原子炉のもつ過剰反応度を求め、基準値以下であることを確認。	令和2年2月4日	良
32-01	制御用インターロック回路のインターロック検査	制御用インターロック回路についてインターロック検査を行い、設置許可申請書に記載された性能を満足することを確認。	令和元年12月19日	良

要領書 番号	検査の項目	検査の概要	検査年月日	結果
33-01	気体廃棄設備の風量確認 検査	放射性廃棄物の廃棄施設のうち、気体廃棄設備について、排気系の風量確認検査を行い、設置許可申請書に記載された性能を満足していることを確認。	令和元年12月20日	良
33-02	気体廃棄設備の外観検査	放射性廃棄物の廃棄施設のうち、気体廃棄設備について、外観検査を行い、設置許可申請書に記載された性能を満足していることを確認。	令和元年12月19日	良
33-03	液体廃棄設備の廃液タンク漏えい検査	放射性廃棄物の廃棄施設のうち、液体廃棄設備について、廃液タンクの漏えい検査を行い、その健全性を確認。	令和元年12月19日	良
33-04	液体廃棄設備の外観検査	放射性廃棄物の廃棄施設のうち、液体廃棄設備について、外観検査を行い、その健全性を確認。	令和元年12月19日	良
35-01	排気中の放射性物質の濃度の測定検査	ダストモニタ及びガスモニタにより、排気筒から放出される排気中の放射性物質の濃度を測定し、ダストモニタについては線量告示第8条に定める周辺監視区域外の濃度限度以下であること、ガスモニタについては放出する放射能が放出管理目標値以下であることを確認し、当該設備の健全性を確認。	令和2年2月27日	良
36-01	原子炉建家の負圧の確認 検査	原子炉が運転中の原子炉建家内の負圧を維持していることを確認。	令和2年2月4日	良
37-01	非常用電源設備の作動検査	ディーゼル発電機について商用電源が停電したとき定められた時間内で確実に作動すること及びディーゼル発電機が電圧確立するまでの間は、蓄電池によって電源が確保され設置許可申請書に記載された基準値を満足していることを確認。	令和元年12月19日 令和元年12月20日	良